

日本臨床検査専門医会

平成 27 年度第一回常任幹事会議事録

平成 27 年 3 月 14 日

日本臨床検査専門医会 平成 27 年度 第一回常任幹事会議事録

開催日時：平成 27 年 3 月 14 日(土曜日)15 時 00 分～17 時 20 分

場 所：日本臨床検査専門医会事務所

出席者：佐守 友博会長, 小柴 賢洋副会長, 東條 尚子副会長

菊池 春人, 木村 聡, 佐藤 尚武, 宮地 勇人, 米山 彰子, 三宅 一徳 各常任幹事
土屋 達行監事

欠席者：池田 均, 佐藤 麻子 各常任幹事, 高木 康 監事

事務局：市川 綾子 (敬称略)

定刻, 佐守友博会長挨拶の後、議長として佐守 友博会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第一号議案 議事録署名人選任について

議長は本会の議事録署名人の選出を議場に諮り、下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人;佐藤 尚武 常任幹事, 宮地 勇人 常任幹事

[報告事項]

1. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

宮地勇人委員長より情報出版委員会の活動内容を文書化した内規を作成したことが報告され、内容が確認・承認された。佐守友博会長より内規に隔年の要覧発行の追加が必要であるとの指摘があった。

LabCP 第1巻(夏号)は昨年度の日本臨床検査医学会学術集会における共催シンポジウムと新専門医制度の2つを特集として、第2巻(冬号)は日本臨床検査専門医会春季大会での若手臨床検査専門医による各領域での話題を特集して発刊予定である。JACLaP NEWS は年4回の発刊を予定、JACLaP WIRE は従来のスケジュールに加え新専門医制度に関する情報を随時追加配信している。また「ラボ」臨床検査専門医のページは4月以降「専門医が教える検査値の判断法」を掲載する予定であることが報告された。

また、LabCP の投稿規定が未整備のため、投稿規定未整備の項目については「臨床病理」投稿規定に準ずる、とする案が報告されたが、英文抄録の有無等について「臨床病理」側の

取扱いが不明確な点があるとの意見があり、八木書店に確認することとなった。

②教育研修委員会

菊池 春人教育研修委員長より第5回生涯教育講演会は6月27日に東大寺総合文化センターで日本臨床検査医学会倫理委員長 通山 薫先生に「残余検体は誰のもの？検査業務・研究と倫理のはざま」、奈良県立橿原考古学研究所 奥山 誠義先生に「文化財を探る・伝える科学と技術」の2題が予定され、前者は新専門医制度における医療倫理講習として認定されることが報告された。

また、本年度の教育セミナーは5月17日に慶応大学で開催予定であり、現在詳細を調整中であることが報告された。本セミナーを新専門医制度のクレジット対象とするか否かについて検討されたが、本年度は現行専門医制度の講習単位のための案内とすることになった。

③資格審査・会則改定委員会

池田 均委員長に代わり三宅一徳幹事より特記事項なしと報告された。

⑤広報委員会

木村 聡広報委員長より、出版社「じほう」から依頼された薬剤師向けの検査解説記事連載の件については木村委員長が企画し、会員へ原稿依頼することとしたので協力をお願いしたいとの報告があった。また、臨床検査振興協議会で作製したクリアファイルの広報効果が高いので臨床検査振興協議会への請求方法を JACLaP NEWS 等を通じて会員に周知したいとの提案があり、事務局で対応することとなった。

土屋達行監事より臨床検査振興協議会についての最新の紙資料がないことが指摘され、佐守友博会長から臨床検査振興協議会に作成を依頼することとなった。また、臨床検査振興協議会から本会への「臨床検査の日」広報活動協力依頼文書については木村 聡広報委員長より回答することとなった。

④渉外委員会

小柴 賢洋渉外委員長より本年度の第32回臨床検査振興セミナー(7月17日(金)東京ガーデンパレス)打ち合わせを本日举行、「ISO15189」をテーマとした企画とすることが報告された。内容としては ISO15189 に関する最新の内容の解説、取得施設側からメーカーに対する要望等を予定していることが報告された。

⑥保険点数委員会

佐藤尚武委員長より日本臨床検査医学会 臨床検査点数委員会との合同メール審議を行い、平成28年度診療報酬改定に向けての提案項目に関し、前回の合同委員会以降に提案された項目について諾否を確認した。また内保連から提案書式の提示があり、内保連に

対し4月前半までに提案書を提出する予定であることが報告された。

2. 専門分野別ネットワーク構築 WG 報告

佐守友博会長より「臨床検査 Q&A システム(仮名)」の進捗状況が資料に基づき報告され、幹事諸氏には近日中に動作画面での確認をお願いする予定であることが報告された。また開発を担当する株式会社ファーマ・インターナショナルとの交渉により開発経費が削減されたことが報告され、別途審議事項として検討することとした。土屋達行監事よりサンプル画面では「日本臨床検査専門医会」「日本臨床検査医学会」の表示がないため、これを追加する必要があるとの指摘があり、WG で対応することとなった。

宮地勇人幹事から以下の提案がなされ、佐守友博会長から WG に検討要請することとなった。過去作成した Q&A データ(アーカイブス)には、現在でも大変参考になるものが多い。そのデータ活用の検討が必要と考える。非会員(検査技師、一般医師など)からの質問を受けると、質問が殺到して回答側の負担が大きく、継続困難となる。一方、将来的に、臨床検査のユーザーである一般医師の利用を視野に入れる必要が生じる。このため、会員限定で運用開始する場合でも、貴重な過去作成の Q&A データを活用すれば、過去と重複した Q&A は回避でき(負担軽減、効率化、迅速化)、また非会員が参照できるようなサイト運用(リンクなどで)は可能と考えられる。過去 Q&A データ(アーカイブス)活用、効率性、回答側の負担軽減、利用者の拡張性などを考慮した運用の青写真が作成出来ないか。

3. 第 25 回(平成 27 年度)春季大会

松尾収二大会長に代わり三宅一徳幹事より平成 27 年 6 月 27 日(土)、28 日(日)に東大寺総合文化センター金鐘ホールで開催される第 25 回春季大会開催プログラムが報告された。27 日 11 時より全国幹事会、13:15 より総会、14 時より生涯教育講演会が予定されており、生涯教育講演会のうち講演 1 は新専門医制度における「医療倫理講習」として認定された。春季大会本体のプログラムは 27 日に「検体測定室」についての特別講演、28 日に「知っておきたい専門領域の最近の話題」とパネルディスカッション「研修医・若手臨床検査医が育つための指導の仕組み作り」が予定されており、後者は新専門医認定制度における「指導医講習会」1.5 単位として認定されたことが報告された。各種委員会開催については開催可能な時間を事務局で確認し、各委員会委員長宛に案内することとなった。

なお、新専門医制度における受講認定の方法については事務局で確認することとなった。

4. 平成 27 年度選挙管理委員会について

三宅一徳幹事より本年度会長、監事選挙での選挙管理委員として天野景裕先生、佐藤麻子先生、増田亜希子先生、安原努先生の 4 名が就任され、4 月 5 日に第 1 回選挙管理委員会を開催予定であることが報告された。なお、選挙に際する A 会員資格の確認は日本臨床検査医学会臨床検査専門医名簿により事務的に行うことが了承された。

5. その他

佐守 友博会長より臨床検査振興協議会勉強会3における「検体測定室」検討状況について報告がなされた。現在 1000 施設余りの登録があるが、厚労省よりガイドライン遵守状況について 691施設に自己点検アンケートを実施したところ 454 施設より回答(開設準備中 125, 休廃止 111)があり 68 施設でガイドラインを遵守していない事項があった。このため、厚労省よりガイドライン遵守を徹底するよう通知が出された。日本臨床衛生検査技師会と共催予定とした検体測定室に関する研修会については厚労省が消極的で、日本医師会も反対しており、現状では実施困難な状況にある。また、経産省、厚労省による簡易血液検査サービスや、検体測定に加え生理検査(呼吸・循環機能検査)を提供する施設があるなど簡易検査事業には多くの問題があることが報告された。宮地勇人幹事より自己採取による郵送検診など多様な検査サービスが行われており、本会としてはそれぞれの検査の質をどのように担保するかという学術的な側面からの検討が必要であるとの発言があった。

また、佐守友博会長より臨床検査振興協議会の新たな WG である「在宅医療における臨床検査」のメンバーとして在宅医療を実際に担当する臨床検査専門医である賀来雅弘先生(すぎなみ大塚クリニック)に参加をいただくことが報告された。

[審議事項]

第 2 号議案 平成 26 年度会計報告

議長は、平成 26 年度の会計報告について、その詳細を三宅一徳庶務・会計幹事に説明させた。平成 26 年度日本臨床検査専門医会会計は、土屋達行監事、高木 康監事により収支決算書、会計書帳簿、領収書その他の帳簿につき詳細な監査が行われたことが報告された。土屋達行監事より、適切に運営されていることを確認したことが報告された。以上より、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決した。なお、会計報告については、本議事録の末尾に添付する(資料)。

第 3 号議案 第 62 回日本臨床検査医学会学術集会(岐阜)における合同シンポジウムについて

議長は第 62 回日本臨床検査医学会学術集会時の合同シンポジウムの内容について決定する必要があることを述べ、その内容案を諮った。宮地勇人幹事より検体測定室、簡易血液検査サービス、その他自己検査など医療機関外で行われる新たな検査サービスに対して検査専門家はどのように対応すべきかをシンポジウムテーマとする提案があり、全員異議なく承認・可決された。シンポジウムタイトルは宮地勇人幹事に決定いただき、座長は宮地勇人、菊池春人両幹事が担当することに決した。シンポジウム内容案として世界の情勢(宮地幹事担当)、国内の現状(担当者未定)、POCT 機器とセルフテスト(菊池幹事担当)の他、生理機能検査、郵送

健診, 在宅医療における検査なども視野に常任幹事で適任者を推薦することとなった。

第4号議案 専門分野別ネットワーク開発のための補正予算について

議長は株式会社ファーマ・インターナショナルによる専門分野別ネットワーク開発の経費は約2,500,000円となるが, 交渉により500,000円減額され総額約2,000,000円を予定していることを報告し, 当初の開発経費との差額, および保守管理経費(1回約6万円, 年3回程度予定)を補正予算として第1回総会に提出することの可否を議場に諮った。全員異議なく賛成し, 本件は第1回総会で審議を行うことに決した。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので, 議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成27年 5月 1日

佐藤 尚武

平成27年 5月 11日

宮地 勇人

日本臨床検査専門医会 平成26年度決算報告書
 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

平成26年12月31日現在

【一般会計】

収入 詳細は会計帳簿記載	入金	10,516,926	27,754,102
	前年度繰越金	17,237,176	
支出 詳細は会計帳簿記載	庶務経費	3,256,251	8,952,973
	事業経費	5,696,722	
収支および次年度繰越金			18,801,129

次年度繰越金	ゆうちょ銀行振替口座 残高証明書 別紙	18,026,830	18,801,129
	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	691,898	
	現金	82,401	

【特別会計】

定期預金	三菱東京UFJ銀行口座 残高証明書 別紙	10,000,000
------	-------------------------	------------

【残高合計】

次年度繰越金＋定期預金	28,801,129
-------------	------------

平成27年1月20日

庶務・会計幹事 三見一徳 

平成26年度日本臨床検査専門医会収支報告は、監査の結果、上記に相違ないことを認めます。

平成27年1月25日

監事 高木 康 

平成27年1月24日

監事 土屋 達行 

平成26年度 会計報告

26年	項目	予算額	決算額	予算と決算の差	
収入	会費	会員会費	6,670,000	5,353,000	-1,317,000
		賛助会員会費	3,900,000	4,300,000	400,000
		雑収入	0	0	0
		小計	10,570,000	9,653,000	-917,000
	その他	広告収入	400,000	251,626	-148,374
		教育セミナー参加費	500,000	370,000	-130,000
		生涯教育講演会参加費	100,000	96,000	-4,000
		振興セミナー参加費	100,000	144,000	44,000
		利息	15,000	2,300	-12,700
		小計	1,115,000	863,926	-251,074
	入金合計		11,685,000	10,516,926	-1,168,074
支出	庶務経費	事務局雑費	150,000	119,821	30,179
		通信費(事務局)	170,000	120,605	49,395
		人件費	1,400,000	1,166,620	233,380
		FAX使用料	60,000	58,802	1,198
		会員登録	10,000	0	10,000
		事務所維持費	1,700,000	1,704,823	-4,823
		設備費	150,000	85,580	64,420
		小計	3,640,000	3,256,251	383,749
	事業	印刷代	2,000,000	1,299,658	700,342
		要覧印刷代	550,000	0	550,000
		通信費	1,000,000	632,738	367,262
		春季大会補助金	500,000	500,000	0
		臨床検査振興セミナー費	900,000	804,744	95,256
		教育セミナー費	850,000	573,951	276,049
		会議費	1,000,000	968,967	31,033
		交通費	70,000	108,650	-38,650
		宿泊費	20,000	20,000	0
		原稿料	100,000	60,000	40,000
		専門医ネットワーク開発費	1,270,000	0	1,270,000
		HP維持費	170,000	128,498	41,502
		JCCLS会費	50,000	50,000	0
		WASPALM会費	45,000	49,516	-4,516
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0
		内保連	100,000	200,000	-100,000
		予備費	390,000	0	390,000
		小計	9,315,000	5,696,722	3,618,278
		経費	出金合計	12,955,000	8,952,973
	収支決算			1,563,953	
	前年度繰越金			17,237,176	
	次年度繰越金			18,801,129	